

大谷大学大学院 研究紀要

第 33 号

『浄土の観念』における浄土観	東 真 行	1
大乘『涅槃経』の思想的発展	森 山 結 希	31
—四相品に見られる説話を中心に—		
大マールンキヤ経にみる「随眠」	梶 哲 也	1
諸行の因相 (saṃskāra-nimitta) が唯識思想形成において果たす役割	岸 上 仁	23
ツォンカバ後期中観思想における二諦説	拉 毛 卓 瑪	53
—世俗諦についての分析—		

2 0 1 6

大谷大学大学院

執筆者紹介

氏名	専攻	発表論文	
東 真行	文学研究科 博士後期課程 第三学年	真宗学	『浄土の観念』における批判の射程（『印度學佛教學研究』第六十四卷第一号）
他三編			
森山 結希	文学研究科 博士後期課程 第三学年	仏教学	『涅槃經』と「無常偈」（『印度學佛教學研究』第六十四卷第一号）
他一編			
梶 哲也	文学研究科 博士後期課程 第三学年	仏教学	説一切有部における二種随増について（『印度學佛教學研究』第六十四卷二号）
他二編			
岸上 仁	文学研究科 博士後期課程 第三学年	仏教学	初期唯識思想において <i>saṃskṛta</i> の概念がもたらした問題——説一切有部の議論をふまえて『菩薩地』『真實義品』を考察する——（『佛教學セミナー』第一〇一号）
他二編			
拉毛 卓玛	文学研究科 博士後期課程 第三学年	国際文化	ジェ・ツォンカパの書簡について・ラマ・ウマパ、レンドゥ宛の書簡を中心に（『印度學佛教學研究』第六十四卷第二号）
他一編			

編集後記

『大谷大学大学院研究紀要』は大谷大学大学院博士後期課程の学生が研究成果を広く公表する場です。学生は課程在学中に論文を一本掲載することが出来ます。また本紀要掲載（または掲載見込み）論文のあることが、本学大学院に課程博士の学位請求論文を提出する際に必要な条件となっています。年一回の刊行を重ね、本号で第三十三号となりました。今回の投稿は五本、指導教員の指導と指導教員以外の査読委員の厳正な審査を経てここに公表される運びとなりました。執筆者本人はもとより、指導教員その他、関係各位の尽力によりここに至ったことを慶賀し、さらにこれらの研究が課程博士論文として結実することを願う次第です。

大谷大学大学院文学研究科長

乾 源 俊

二〇一六年十二月一日 発行

大谷大学大学院研究紀要 第三十三号

編集兼
発行者

大谷大学大学院
代表 乾 源俊

発行所 大谷大学

〒六〇三八一四三

京都市北区小山上総町
TEL 〇七五 一四三 一三三（代）

RESEARCH REPORT OF THE GRADUATE SCHOOL OF OTANI UNIVERSITY

No. 33

December 2016

CONTENTS

Kaneko Daiei's Conception of the Pure Land in <i>The Idea of the Pure Land</i>	AZUMA Shingyo (1)
The Philosophical Development of the <i>Mahāparinirvāṇa Sūtra</i> : The Narrative in the Chapter on the Four Aspects	MORIYAMA Yuki (31)
<i>Anuśaya</i> as Described in <i>Mahāmālūṅkyasutta</i>	KAJI Tetsuya (1)
The Role of <i>Samṣkāra-nimitta</i> in the Formation of Yogācāra Thought	KISHIGAMI Hitoshi (23)
Analysis of <i>Samvṛtisatya</i> in Tsong kha pa's Later Madhyamaka Thought	LAMAOZHUOMA (53)

THE GRADUATE SCHOOL OF
OTANI UNIVERSITY
KYOTO